(6) GPA 制度

Grade Point Average (以下、GPA という)制度とは、1単位当たりの成績の平均値をあらわすもので、総合的な学業成績の指標のひとつとして実施しています。GPA は、「成績通知書」や「成績証明書」に記載されます。GP (Grade Point)の設定基準は次のとおりです。

点数またはグレード	GP
100~90点、またはS	4.0
89~85点、または A +	3.5
84~80点、または A	3.0
79~75点、またはB+	2.5
74~70点、または B	2.0
69~65点、またはC+	1.5
64~60点、または C	1.0
59~ 0点、または F	0

一部実習科目など合「G」・否「H」のみで評価される単位や、「認」と表記される単位認定のみを行った科目については、GPを与えず、GPAの対象としません。GPAの算出式は、次のとおりです。

分母となるのは修得した単位数ではなく、前述の GPA 対象外科目を除く当該学期までの履修登録した総単位数となります。不合格科目が多ければ、GPA は低くなるので注意してください。

GPA に基づく成績優秀者については、学期ごとに顕彰します。各学年の上位10%以内に位置する学生の学生番号と各学年1位の GPA、各学年の平均 GPA 等をポータルにて発表します。その他、各種奨学金(授業料減免を含む)や関西学院大学への指定校推薦の選考基準としても使用します。

GPA に基づく成績不振者には、アドバイザーによる個別指導を行ったり、卒業判定時に通算 GPA を参考にすることがあります。その他、各種奨学金や授業料減免が受けられる場合もあります。